



2025年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社

コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長谷部 佳宏

問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 峯岸 佳雅 TEL 03-3660-7111

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	1,232,034	3.5	114,867	13.7	119,412	14.8	84,901	16.4	84,719	19.3	73,729	△14.4
2024年12月期第3四半期	1,190,011	5.7	101,055	99.3	104,016	90.6	72,917	111.1	71,027	118.3	86,162	△10.2

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第3四半期	182	64	-	-
2024年12月期第3四半期	152	85	-	-

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期第3四半期	1,791,798	1,057,494	1,029,263	57.4	2,245.81
2024年12月期	1,867,237	1,098,835	1,066,776	57.1	2,296.69

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	-	76.00	-	76.00	152.00
2025年12月期	-	77.00	-	-	-
2025年12月期 (予想)	-	-	-	77.00	154.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,690,000	3.8	165,000	12.5	168,000	11.2	121,000	12.3	262.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期3Q	465,900,000株	2024年12月期	465,900,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	7,596,989株	2024年12月期	1,415,333株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期3Q	463,849,224株	2024年12月期3Q	464,672,121株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】5ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する概要	2
(2) 財政状態に関する概要	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(7) 継続企業の前提に関する注記	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する概要

注：以下、()付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。
また、数量等には製品構成差を含んでいます。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2025年12月期 第3四半期累計期間	12,320	1,149	9.3	1,194	849	847	182.64
2024年12月期 第3四半期累計期間	11,900	1,011	8.5	1,040	729	710	152.85
増減率	3.5% 実質 4.1%	13.7%	—	14.8%	16.4%	19.3%	19.5%

世界経済は、関税の政策転換の影響による国際的なサプライチェーンの混乱や調達コストの上昇に加え、欧州や中東における地政学リスクの長期化により、依然として不透明な状況が続いています。日本においては、物価高の影響が継続し、内需の回復は力強さに欠けています。

当社グループの主要市場である日本のトイレットペーパー及び化粧品市場は、小売店の販売実績や消費者購入調査データによると、2025年1月から9月において前年同期を上回りました。

このような経営環境の中、当社グループは花王グループ中期経営計画「K27」達成のため、稼ぐ力を向上させながら、利益ある成長に向け、グローバル売り上げ拡大の基盤作りを推進しています。

売上高は、前年同期に対して3.5%増の1兆2,320億円（為替0.5%減、実質4.1%増（内訳：数量等0.6%増、価格3.5%増））となりました。**営業利益**は1,149億円（対前年同期138億円増）となり、**税引前四半期利益**は1,194億円（対前年同期154億円増）となりました。**四半期利益**は849億円（対前年同期120億円増）となりました。

なお、2025年8月6日開催の取締役会において、資本効率の向上と株主への一層の利益還元のため、自己株式の取得を決議し、2025年9月30日現在で株式総数6,232千株、取得価額の総額417億円の取得を実施しました。

当第3四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1－3月	第2四半期 4－6月	第3四半期 7－9月
米ドル	152.65円[148.22円]	144.49円[155.72円]	147.41円[149.44円]
ユーロ	160.48円[160.99円]	163.73円[167.68円]	172.30円[164.04円]
中国元	20.98円[20.63円]	19.98円[21.51円]	20.59円[20.84円]

注：[]内は前年同期の換算レート

〔セグメント別の概況〕

第1四半期で実施した報告セグメントの変更の概要は以下のとおりです。（参照P.13 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 1. セグメント情報）。

1. コンシューマープロダクツ事業をグローバルコンシューマーケア事業に、ハイジーン&リビングケア事業をハイジーンリビングケア事業に、ヘルス&ビューティケア事業をヘルスビューティケア事業に改称しています。
2. グローバルコンシューマーケア事業の中にビジネスコネクティッド事業を新設します。この事業は、業務用衛生製品（Washing Systems, LLCを除く）とライフケア製品等で構成しています。
3. Washing Systems, LLCはケミカル事業に組み入れています。
4. 上記1～3のセグメントの再編により、前年同期の売上高及び営業利益を組み替えて表示しています。

セグメントの業績

		売上高				営業利益				
		第3四半期累計期間		増減率		第3四半期累計期間				増減 (億円)
						2024年12月期 (億円)		2025年12月期 (億円)		
		2024年 12月期 (億円)	2025年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2024年12月期 (億円)	利益率 (%)	2025年12月期 (億円)	利益率 (%)	
	ファブリック＆ホームケア製品	2,684	2,784	3.7	3.6	478	17.8	516	18.5	38
	サニタリー製品	1,246	1,195	(4.1)	(2.8)	63	5.1	61	5.1	(2)
	ハイジーンリビングケア事業	3,930	3,979	1.2	1.6	542	13.8	577	14.5	35
	ヘルスビューティケア事業	3,147	3,218	2.3	3.0	256	8.1	296	9.2	39
	化粧品事業	1,732	1,812	4.6	4.9	(79)	(4.6)	30	1.6	109
	ビジネスコネクティッド事業	292	280	(4.2)	(4.2)	47	16.2	12	4.1	(36)
	グローバルコンシューマーケア事業	9,101	9,289	2.1	2.5	766	8.4	914	9.8	148
	ケミカル事業	3,130	3,369	7.6	8.5	259	8.3	229	6.8	(30)
	小 計	12,231	12,658	3.5	4.0	1,025	—	1,143	—	117
	セグメント間消去又は調整	(331)	(338)	—	—	(15)	—	6	—	21
	合 計	11,900	12,320	3.5	4.1	1,011	8.5	1,149	9.3	138

販売実績

第3四半期累計期間			(億円、増減率%)				
			日本	アジア	米州	欧州	合計
	ファブリック&ホームケア製品	2024年	2,328	329	28	—	2,684
		2025年	2,467	295	23	—	2,784
		増減率	6.0	(10.3)	(17.6)	—	3.7
		実質	6.0	(11.6)	(13.2)	—	3.6
	サニタリー製品	2024年	553	693	—	—	1,246
		2025年	533	662	—	—	1,195
		増減率	(3.5)	(4.5)	—	—	(4.1)
		実質	(3.5)	(2.2)	—	—	(2.8)
	ハイジーンリビングケア事業	2024年	2,881	1,022	28	—	3,930
		2025年	3,000	957	23	—	3,979
		増減率	4.1	(6.4)	(17.6)	—	1.2
		実質	4.1	(5.2)	(13.2)	—	1.6
	ヘルスビューティケア事業	2024年	1,559	271	849	468	3,147
		2025年	1,669	268	817	464	3,218
		増減率	7.1	(1.1)	(3.8)	(0.8)	2.3
		実質	7.1	0.2	(1.2)	(1.7)	3.0
	化粧品事業	2024年	1,162	319	56	194	1,732
		2025年	1,232	328	53	199	1,812
		増減率	6.0	2.8	(5.4)	2.5	4.6
		実質	6.0	4.4	(3.5)	1.5	4.9
	ビジネスコネクティッド事業	2024年	290	1	—	—	292
		2025年	277	3	—	—	280
		増減率	(4.6)	89.7	—	—	(4.2)
		実質	(4.6)	92.8	—	—	(4.2)
	グローバルコンシューマーケア事業	2024年	5,892	1,614	932	662	9,101
		2025年	6,178	1,556	892	664	9,289
		増減率	4.8	(3.6)	(4.3)	0.2	2.1
		実質	4.8	(2.3)	(1.7)	(0.7)	2.5
	ケミカル事業	2024年	1,006	771	630	723	3,130
		2025年	1,070	896	651	752	3,369
		増減率	6.4	16.2	3.3	4.1	7.6
		実質	6.4	16.3	8.1	3.4	8.5
	セグメント間売上高の消去	2024年	(278)	(27)	(1)	(25)	(331)
		2025年	(295)	(23)	(1)	(19)	(338)
	売上高	2024年	6,620	2,358	1,561	1,361	11,900
		2025年	6,953	2,429	1,541	1,397	12,320
		増減率	5.0	3.0	(1.3)	2.6	3.5
		実質	5.0	3.9	2.2	1.8	4.1

注：グローバルコンシューマーケア事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、グローバルコンシューマーケア事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高に占める海外の割合は、前年同期の44.4%から43.6%となりました。なお、第1四半期より販売元の所在地に基づいた割合を開示しています。前年同期も同様の方法で算出しています。

売上高 対前年同期比分析

		増減率 (%)	為替 (%)	実質 (%)	数量等 (%)	価格 (%)
	ファブリック&ホームケア製品	3.7	0.1	3.6	1.6	2.0
	サニタリー製品	(4.1)	(1.3)	(2.8)	(1.5)	(1.2)
	ハイジーンリビングケア事業	1.2	(0.3)	1.6	0.6	0.9
	ヘルスビューティケア事業	2.3	(0.7)	3.0	2.7	0.2
	化粧品事業	4.6	(0.3)	4.9	4.0	0.9
	ビジネスコネクティッド事業	(4.2)	(0.0)	(4.2)	(5.3)	1.2
	グローバルコンシューマーケア事業	2.1	(0.4)	2.5	1.8	0.7
	ケミカル事業	7.6	(0.8)	8.5	(2.7)	11.2
	合 計	3.5	(0.5)	4.1	0.6	3.5

注：ケミカル事業の売上高は、セグメント間取引を含んでいます。

グローバルコンシューマーケア事業

売上高は、前年同期に対して2.1%増の9,289億円（為替0.4%減、実質2.5%増（内訳：数量等1.8%増、価格0.7%増））となりました。

世界では、引き続き生活者の低価格志向が見られる中、実用性や付加価値の高い製品への需要が堅調に推移しています。日本では、賃上げの広がりやインバウンド需要が経済を下支えする一方、物価上昇の影響により、消費行動は慎重な傾向が続いています。このような中、引き続き、高付加価値製品の提案やその価値に見合った価格改定等により、稼ぐ力を向上させながら、利益ある成長に向け、グローバル売り上げ拡大の基盤作りに取り組みました。

日本の売上高は、前年同期に対して4.8%増の6,178億円となりました。

アジアでは、売上高は3.6%減の1,556億円（実質2.3%減）となりました。

米州の売上高は、4.3%減の892億円（実質1.7%減）となり、欧州の売上高は、0.2%増の664億円（実質0.7%減）となりました。

営業利益は、原材料価格上昇の影響がある中、販売数量の増加と稼ぐ力の向上が寄与し914億円（対前年同期148億円増）となりました。

当社は、【ハイジーンリビングケア事業】、【ヘルスビューティケア事業】、【化粧品事業】、【ビジネスコネクティッド事業】を総称して、グローバルコンシューマーケア事業としています。

【ハイジーンリビングケア事業】

売上高は、前年同期に対し1.2%増の3,979億円（為替0.3%減、実質1.6%増（内訳：数量等0.6%増、価格0.9%増））、なお、2024年6月に実施したペットケア事業譲渡の影響を実質からさらに除くと2.2%増）となりました。

ファブリック&ホームケア製品の売り上げは、前年同期に対して3.7%増の2,784億円（為替0.1%増、実質3.6%増（内訳：数量等1.6%増、価格2.0%増））となりました。

ファブリックケア製品の売り上げは、前年同期を上回りました。日本では、衣料用洗剤「アタック抗菌EX」シリーズの改良品等が、製品価値向上に伴う価格改定の効果もあり、売り上げ増とともにシェア拡大に寄与しました。

ホームケア製品は、日本の食器用洗剤の改良品等が好調に推移し、前年同期を上回りました。

ファブリック&ホームケア製品の営業利益は、516億円（対前年同期38億円増）となりました。

サニタリー製品の売上高は、前年同期に対して4.1%減の1,195億円（為替1.3%減、実質2.8%減（内訳：数量等1.5%減、価格1.2%減））、なお、2024年6月に実施したペットケア事業譲渡の影響を実質からさらに除くと1.0%減）となりました。生理用品「ロリエ」の売り上げは、前年同期を上回りました。中国では引き続きロイヤルティマーケティングが奏功し、売り上げは好調に推移しました。ベビー用紙おむつ「メリーズ」の売り上げは、日本では前年同期を上回った一方、アジアで競合の攻勢等により前年同期を下回りました。

サニタリー製品の営業利益は、61億円（対前年同期2億円減、なお、2024年6月に実施したペットケア事業譲渡の影響を除くと対前年同期40億円増）となりました。

ハイジーンリビングケア事業の営業利益は、577億円（対前年同期35億円増、なお、2024年6月に実施したペットケア事業譲渡の影響を除くと78億円増）となりました。

【ヘルスビューティケア事業】

売上高は、前年同期に対して2.3%増の3,218億円（為替0.7%減、実質3.0%増（内訳：数量等2.7%増、価格0.2%増））となりました。

スキんケア製品の売り上げは、前年同期を上回りました。日本では、UVケア製品やシート関連のシーズン品が伸長し前年同期を上回りましたが、米州の売り上げは、「JERGENS」が競合からの攻勢等を受け、前年同期を下回りました。

ヘアケア製品の売り上げは、前年同期を大幅に上回りました。日本では、昨年発売した高価格帯のヘアケアブランドに加え、新製品の「MEMEME」が好調に推移しました。欧米のヘアサロン向け製品の売り上げは、「ORIBE」が好調に推移しましたが、「GOLDWELL」が米国や欧州の景況感悪化等の影響を受け、前年同期を下回りました。

パーソナルヘルス製品の売り上げは、前年同期を上回りました。「ピュオーラ炭酸ハミガキ」が日本で引き続き好調に推移し、「めぐりズム」の改良品が日本と中国で伸長しました。

営業利益は、296億円（対前年同期39億円増、なお、前年同期に実施した欧米子会社の構造改革費用の影響を除くと2億円増）となりました。

【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対して4.6%増の1,812億円（為替0.3%減、実質4.9%増（内訳：数量等4.0%増、価格0.9%増））となりました。

日本の売り上げは前年同期を上回りました。好調を継続している「Curél」、「KANEBO」、「SOFINA iP」、インバウンド需要を捉えた「SENSAI」等の注力6ブランドが継続して増収に寄与しました。アジアの売り上げは前年同期を上回りました。中国では「freeplus」の好調に加え、昨年は流通在庫の適正化に伴う出荷抑制実施もあり、今期の売り上げは前年同期を大幅に上回りました。また、注力しているタイでは、「KANEBO」や「KATE」が計画を上回る進捗を示しました。欧州では、「SENSAI」と「MOLTON BROWN」が好調に推移したほか、「Curél」は欧州での展開を強化しました。

営業利益は、注力6ブランドへの投資の集中や事業のスリム化等が利益改善に大きく寄与し、30億円（対前年同期109億円増）となりました。

【ビジネスコネクティッド事業】

売上高は、前年同期に対して4.2%減の280億円（為替0.0%減、実質4.2%減（内訳：数量等5.3%減、価格1.2%増）、なお、2024年8月に実施した飲料事業譲渡の影響を実質からさらに除くと1.6%増）となりました。

業務用衛生製品の売り上げは、前年同期を上回りました。メディカル分野では競合との価格競争の影響を受けましたが、フードサービスや宿泊・レジャー分野では、堅調な市況に伴い厨房用洗剤や客室消耗品の需要が引き続き高まりました。

営業利益は、12億円（対前年同期36億円減、なお、2024年8月に実施した飲料事業譲渡の影響を除くと対前年同期27億円増）となりました。

ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して7.6%増の3,369億円（為替0.8%減、実質8.5%増（内訳：数量等2.7%減、価格11.2%増））となりました。

油脂製品は、地域毎の需要の状況には違いが出ているものの、油脂原料価格の上昇を受けて実施した販売価格改定の貢献が大きく、売り上げは前年同期を上回りました。

機能材料製品は、自動車関連分野等の対象市場の停滞がある中でも、販売価格改定の効果の寄与により、売り上げは前年同期並みになりました。

情報材料製品は、半導体関連やハードディスク等の対象分野の需要が堅調に推移し、その着実な取り込みを通じて、売り上げは伸長しました。

営業利益は、一部の対象分野での需要減と原料価格変動の影響等を受けて、229億円（対前年同期30億円減）となりました。

（２）財政状態に関する概要

（連結財政状態）

	前連結会計年度末 (2024年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年9月30日)	増減
資産合計（億円）	18,672	17,918	(754)
負債合計（億円）	7,684	7,343	(341)
資本合計（億円）	10,988	10,575	(413)
親会社所有者帰属持分比率	57.1%	57.4%	—
1株当たり親会社所有者帰属持分（円）	2,296.69	2,245.81	(50.88)
社債及び借入金（億円）	1,311	1,311	0

資産合計は、前連結会計年度末に比べ754億円減少し、1兆7,918億円となりました。主な増加は、棚卸資産211億円であり、主な減少は、現金及び現金同等物718億円、営業債権及びその他の債権102億円です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ341億円減少し、7,343億円となりました。主な減少は、営業債務及びその他の債務153億円です。

資本合計は、前連結会計年度末に比べ413億円減少し、1兆575億円となりました。主な増加は、四半期利益849億円であり、主な減少は、配当金727億円、2025年8月6日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得417億円、在外営業活動体の換算差額122億円です。

なお、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の57.1%から57.4%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、花王グループ中期経営計画「K27」を達成するため、稼ぐ力を向上させながら、利益ある成長に向け、グローバル売り上げ拡大の基盤作りを推進し、当第3四半期連結累計期間は計画通り進捗しました。

第4四半期は、物価高の影響や海外の競争環境の激化等の不確実な事業環境を想定していますが、2025年8月6日に公表した連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、149円／米ドル、168円／ユーロ、20.6円／中国元です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	357,713	285,880	(71,833)
営業債権及びその他の債権	238,077	227,840	(10,237)
棚卸資産	274,628	295,679	21,051
その他の金融資産	10,525	5,623	(4,902)
未収法人所得税	5,467	6,192	725
その他の流動資産	26,053	26,813	760
小計	912,463	848,027	(64,436)
売却目的で保有する非流動資産	1,562	2,232	670
流動資産合計	914,025	850,259	(63,766)
非流動資産			
有形固定資産	423,251	426,406	3,155
使用権資産	116,637	108,272	(8,365)
のれん	228,413	225,188	(3,225)
無形資産	81,947	77,426	(4,521)
持分法で会計処理されている投資	14,526	14,843	317
その他の金融資産	28,132	28,332	200
繰延税金資産	49,044	49,485	441
その他の非流動資産	11,262	11,587	325
非流動資産合計	953,212	941,539	(11,673)
資産合計	1,867,237	1,791,798	(75,439)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	258,035	242,736	(15,299)
社債及び借入金	35,749	25,857	(9,892)
リース負債	20,146	20,287	141
その他の金融負債	7,280	4,249	(3,031)
未払法人所得税等	20,984	25,981	4,997
引当金	2,773	1,451	(1,322)
契約負債等	43,878	44,005	127
その他の流動負債	120,755	112,470	(8,285)
流動負債合計	509,600	477,036	(32,564)
非流動負債			
社債及び借入金	95,310	105,225	9,915
リース負債	94,123	86,304	(7,819)
その他の金融負債	6,370	6,647	277
退職給付に係る負債	39,460	37,064	(2,396)
引当金	8,223	7,503	(720)
繰延税金負債	9,754	9,003	(751)
その他の非流動負債	5,562	5,522	(40)
非流動負債合計	258,802	257,268	(1,534)
負債合計	768,402	734,304	(34,098)
資本			
資本金	85,424	85,424	—
資本剰余金	106,256	106,310	54
自己株式	(5,924)	(47,299)	(41,375)
その他の資本の構成要素	132,239	122,328	(9,911)
利益剰余金	748,781	762,500	13,719
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,066,776	1,029,263	(37,513)
非支配持分	32,059	28,231	(3,828)
資本合計	1,098,835	1,057,494	(41,341)
負債及び資本合計	1,867,237	1,791,798	(75,439)

(2) 要約四半期連結損益計算書

		前第3四半期 連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	増減
	注記	百万円	百万円	百万円
売上高	1	1,190,011	1,232,034	42,023
売上原価		(730,725)	(750,699)	(19,974)
売上総利益		459,286	481,335	22,049
販売費及び一般管理費	2	(363,737)	(367,336)	(3,599)
その他の営業収益		24,040	13,346	(10,694)
その他の営業費用		(18,534)	(12,478)	6,056
営業利益	1	101,055	114,867	13,812
金融収益		3,747	4,369	622
金融費用		(3,543)	(2,631)	912
持分法による投資利益		2,757	2,807	50
税引前四半期利益		104,016	119,412	15,396
法人所得税		(31,099)	(34,511)	(3,412)
四半期利益		72,917	84,901	11,984
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		71,027	84,719	13,692
非支配持分		1,890	182	(1,708)
四半期利益		72,917	84,901	11,984
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		152.85	182.64	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		—	—	

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	72,917	84,901	11,984
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	1,050	503	(547)
確定給付負債（資産）の純額の再測定	—	(28)	(28)
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	318	855	537
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,368	1,330	(38)
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	11,845	(12,195)	(24,040)
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	32	(307)	(339)
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	11,877	(12,502)	(24,379)
税引後その他の包括利益	13,245	(11,172)	(24,417)
四半期包括利益	86,162	73,729	(12,433)
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	82,867	74,923	(7,944)
非支配持分	3,295	(1,194)	(4,489)
四半期包括利益	86,162	73,729	(12,433)

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動
2024年1月1日残高	85,424	105,780	(3,267)	77,448	10	6,461
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	10,475	(4)	1,369
四半期包括利益	—	—	—	10,475	(4)	1,369
自己株式の処分	—	(182)	189	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(2,838)	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	490	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分の変動	—	5	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	(217)
所有者との取引等合計	—	313	(2,649)	—	—	(217)
2024年9月30日残高	85,424	106,093	(5,916)	87,923	6	7,613

親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	確定給付負債(資産)の純額の再測定	合計				
	百万円	百万円				
2024年1月1日残高	—	83,919	711,802	983,658	28,385	1,012,043
四半期利益	—	—	71,027	71,027	1,890	72,917
その他の包括利益	—	11,840	—	11,840	1,405	13,245
四半期包括利益	—	11,840	71,027	82,867	3,295	86,162
自己株式の処分	—	—	(7)	0	—	0
自己株式の取得	—	—	—	(2,838)	—	(2,838)
株式に基づく報酬取引	—	—	—	490	—	490
配当金	—	—	(70,169)	(70,169)	(1,001)	(71,170)
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	5	(16)	(11)
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	(217)	217	—	—	—
所有者との取引等合計	—	(217)	(69,959)	(72,512)	(1,017)	(73,529)
2024年9月30日残高	—	95,542	712,870	994,013	30,663	1,024,676

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月1日残高	85,424	106,256	(5,924)	124,321	6	7,912
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	(11,129)	2	1,359
四半期包括利益	—	—	—	(11,129)	2	1,359
自己株式の処分	—	(320)	363	—	—	—
自己株式の取得	—	(0)	(41,738)	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	496	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分の変動	—	(122)	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	(143)
所有者との取引等合計	—	54	(41,375)	—	—	(143)
2025年9月30日残高	85,424	106,310	(47,299)	113,192	8	9,128

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	確定給付負債（資産）の純額の再測定	合計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月1日残高	—	132,239	748,781	1,066,776	32,059	1,098,835
四半期利益	—	—	84,719	84,719	182	84,901
その他の包括利益	(28)	(9,796)	—	(9,796)	(1,376)	(11,172)
四半期包括利益	(28)	(9,796)	84,719	74,923	(1,194)	73,729
自己株式の処分	—	—	(42)	1	—	1
自己株式の取得	—	—	—	(41,738)	—	(41,738)
株式に基づく報酬取引	—	—	—	496	—	496
配当金	—	—	(71,073)	(71,073)	(1,663)	(72,736)
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	(122)	(971)	(1,093)
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	28	(115)	115	—	—	—
所有者との取引等合計	28	(115)	(71,000)	(112,436)	(2,634)	(115,070)
2025年9月30日残高	—	122,328	762,500	1,029,263	28,231	1,057,494

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	104,016	119,412
減価償却費及び償却費	66,427	63,997
事業譲渡益	(10,590)	—
受取利息及び受取配当金	(3,518)	(2,633)
支払利息	2,020	1,820
持分法による投資損益(益)	(2,757)	(2,807)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	1,899	2,213
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	19,654	9,559
棚卸資産の増減額(増加)	(3,103)	(22,315)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(2,563)	(12,287)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(2,318)	(2,831)
引当金の増減額(減少)	(10,640)	(2,024)
その他	(5,410)	(11,608)
小計	153,117	140,496
利息の受取額	3,370	2,512
配当金の受取額	2,270	3,377
利息の支払額	(1,708)	(2,000)
法人所得税等の支払額	(25,143)	(31,126)
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,906	113,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(9,319)	(7,272)
定期預金の払戻による収入	7,980	11,541
有形固定資産の取得による支出	(41,799)	(50,329)
有形固定資産の売却による収入	5,086	87
無形資産の取得による支出	(6,454)	(6,389)
事業譲渡による収入	11,783	—
その他	2,328	269
投資活動によるキャッシュ・フロー	(30,395)	(52,093)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	(13,404)	90
長期借入による収入	10,000	10,000
長期借入金の返済による支出	(7)	(10,014)
社債の発行による収入	—	24,939
社債の償還による支出	(12)	(24,951)
リース負債の返済による支出	(16,143)	(16,658)
自己株式の取得による支出	(2,838)	(41,738)
支払配当金	(69,625)	(70,625)
非支配持分への支払配当金	(1,021)	(1,667)
その他	70	(940)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(92,980)	(131,564)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	8,531	(70,398)
現金及び現金同等物の期首残高	291,663	357,713
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	4,268	(1,435)
現金及び現金同等物の四半期末残高	304,462	285,880

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、取締役会は、売上高及び営業利益を主要な指標として、各セグメントの業績評価を行っております。

当社グループは、グローバルコンシューマーケア事業部門を構成する4つの事業分野（ハイジーンリビングケア事業、ヘルスビューティケア事業、化粧品事業、ビジネスコネクティッド事業）及びケミカル事業部門の5つの事業を基本にして組織が構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、「ハイジーンリビングケア事業」、「ヘルスビューティケア事業」、「化粧品事業」、「ビジネスコネクティッド事業」及び「ケミカル事業」の5つを報告セグメントとしております。

当社グループは、2025年1月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「ハイジーン&リビングケア事業」、「ヘルス&ビューティケア事業」、「ライフケア事業」、「化粧品事業」及び「ケミカル事業」の5区分としていた報告セグメントを、「ハイジーンリビングケア事業」、「ヘルスビューティケア事業」、「化粧品事業」、「ビジネスコネクティッド事業」及び「ケミカル事業」の5区分に変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報 告 セ グ メ ン ト		主 要 製 品	
グローバル コンシューマー ケア事業	ハイジーンリビングケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤
		ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
	ヘルスビューティケア事業	スキんケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗淨料、UVケア製品
		ヘアケア製品	シャンプー、コンディショナー、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき、歯ブラシ、温熱用品
	化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品
	ビジネスコネクティッド事業	業務用衛生製品、ライフケア製品	業務用衛生製品、ライフケア製品
ケミカル事業		油脂製品	オレオケミカル、油脂誘導体、界面活性剤・配合製品、香料
		機能材料製品	コンクリート用減水剤、鋳物砂用バインダー、プラスチック用添加剤、各種産業用薬剤
		情報材料製品	トナー、トナーバインダー、インクジェット用色材、インク、ハードディスク研磨液・洗浄剤、半導体製造用薬剤・材料

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	グローバルコンシューマーケア事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン リビングケア 事業	ヘルス ビューティ ケア事業	化粧品 事業	ビジネスコ ネクティッ ド事業	小計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円				
売上高									
外部売上高	393,012	314,704	173,156	29,183	910,055	279,956	1,190,011	—	1,190,011
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	33,050	33,050	(33,050)	—
売上高合計	393,012	314,704	173,156	29,183	910,055	313,006	1,223,061	(33,050)	1,190,011
営業利益（又は損失）	54,157	25,612	(7,902)	4,730	76,597	25,922	102,519	(1,464)	101,055
金融収益									3,747
金融費用									(3,543)
持分法による投資利益									2,757
税引前四半期利益									104,016

(注1) 営業利益（又は損失）の調整額(1,464)百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

	報告セグメント					ケミカル 事業	合計	調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	グローバルコンシューマーケア事業								
	ハイジーン リビングケア 事業	ヘルス ビューティ ケア事業	化粧品 事業	ビジネスコ ネクティッ ド事業	小計				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高									
外部売上高	397,901	321,834	181,191	27,962	928,888	303,146	1,232,034	－	1,232,034
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	－	－	－	－	－	33,787	33,787	(33,787)	－
売上高合計	397,901	321,834	181,191	27,962	928,888	336,933	1,265,821	(33,787)	1,232,034
営業利益（又は損失）	57,697	29,558	2,972	1,157	91,384	22,873	114,257	610	114,867
金融収益									4,369
金融費用									(2,631)
持分法による投資利益									2,807
税引前四半期利益									119,412

(注1) 営業利益（又は損失）の調整額610百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	61,840	64,114
販売促進費	37,330	40,362
従業員給付費用	132,306	132,264
減価償却費	12,733	11,525
償却費	8,424	8,687
研究開発費	46,448	45,900
その他	64,656	64,484
合計	363,737	367,336

(7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。